

## 【福島県】

### 県立中学校及び県立特別支援学校小学部・中学部に係る校務 DX 計画

福島県においては、汎用クラウドプラットフォームである FCS（ふくしまクラウドサービス）（※）の活用を中心に校務 DX に向け取り組んでいる。

代表的な下記の取組の他、文部科学省が定める「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト」及び福島県教育委員会が定める「教職員働き方改革アクションプラン」等を踏まえ、継続して校務の DX に向けた取組の改善等を行う。

（※）FCS は、福島県が県域でドメイン運用する Google Workspace（汎用クラウドプラットフォーム）である。

#### 記

- 1 ゼロトラストセキュリティを採用したロケーションフリーでの校務処理の実現
  - ・令和6年10月、県立学校においては、文部科学省の示す教育 DX に係る KPI の方向性に則り、FCS を基盤としたゼロトラストセキュリティを採用した新たなネットワークシステムへの切り替えを行った。
  - ・このことにより、校務系と学習系で異なっていたネットワークを一本化するとともに、教職員が使用する端末も一本化し、接続するネットワークを問わずに校務処理等が実施できる環境を実現した。
- 2 教育情報セキュリティポリシーの策定
  - ・上記ゼロトラストセキュリティの採用に伴い、クラウド活用を前提とした校務環境等に対応するため、福島県教育情報セキュリティポリシーの見直しを行った。
  - ・今後も国の方向性や現状等を把握しながら、随時見直し等を行う。
- 3 FCS を活用した学校等への発出文書の削減
  - ・教職員働き方改革アクションプランに基づき、FCS のデータ共有機能を活用した県教育委員会からの発出文書削減に努めている。
  - ・県立学校及び市町村立学校の全教職員が FCS を活用しており、市町村教育委員会においても FCS の活用を促すとともに、発出文書削減による事務負担の軽減等を図る。
- 4 教育ダッシュボードの構築
  - ・FCS 及びクラウドプラットフォーム上に教育データを蓄積し、県内の各教育委員会等に教育ダッシュボードを提供する。
  - ・教育ダッシュボードの機能としては、端末等の利用状況、健康や成長、運動や体力、運動能力、食生活や食習慣の状況、単元毎の学習内容の定着状況等を予定しており、随時機能追加や改善等を行う。

## 5 校務における生成 AI の利活用

- ・ 文部科学省が示す「初等中等教育段階における生成 AI の利用に関する暫定的なガイドライン」を遵守した上で、校務での利活用を行う。

## 6 次世代型校務支援システムの導入検討

- ・ 県立学校においては、令和 2 年度よりプライベートクラウド上で運用する統合型校務支援システムを利用しているが、文部科学省が示す「パブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システム」の導入を検討するため情報収集を進めるとともに、令和 7 年度までに県内各市町村とも次世代型校務支援システムの導入に向けた協議を開始する。